

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S28	施策名	行政改革の推進
担当部課	総務部行政課	関係部課	政策秘書課、財政課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 中期財政計画、行政評価実施要領
施策開始の背景、経緯等	効率的な行政運営を図りつつ、その減量化に努め、住民福祉の増進に資するため、昭和60年に第1次長久手町行政改革大綱を策定し、その後、第2次行政改革大綱を平成9年に策定し、第3次行政改革大綱を平成17年に策定し、行政改革指針を平成29年に策定し、平成31年に同指針を改訂した。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 総合計画の目的を達成するために、財源を確保しながら、行政を効率的にかつ確実に運営するとともに、中期財政計画にある総支出の抑制及び財源の確保の重要性を踏まえ、中期財政計画と同輪で行政改革を推進する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市内部(庁内)、各種事業
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 総合計画の目的を達成するために、財源を確保しながら、行政を効率的にかつ確実に運営する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組① 重要課題事業の決定・実施				
	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	具体的な事業として、第1弾、第2弾を決定し、実施を始めた。	・第3弾を決定し、実施する。 ・第1弾、第2弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の実施完了
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人

目標・成果推移等②	施策に係る取組② 行政評価の実施				
	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	・内部評価をA票、S票で実施 ・外部評価をA票、S票合わせて12事業を実施 ・アクションプランとの連動	・内部評価をA票、S票で実施 ・外部評価をA票、S票合わせて12事業を実施 ・アクションプラン、予算との連動	・内部評価をA票、S票で実施 ・外部評価をA票、S票合わせて12事業を実施 ・アクションプラン、予算との連動	・内部評価をA票、S票で実施 ・外部評価をA票、S票合わせて12事業を実施 ・アクションプラン、予算との連動	・内部評価をA票、S票で実施 ・外部評価をA票、S票合わせて12事業を実施 ・アクションプラン、予算との連動
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	行政改革推進に関する助言指導委託 600千円	行政改革推進に関する助言指導委託 681千円	行政改革推進に関する助言指導委託 681千円	行政改革推進に関する助言指導委託 681千円	行政改革推進に関する助言指導委託 681千円
	行政改革推進委員会委員報酬 423千円	行政改革推進委員会委員報酬 584千円	行政改革推進委員会委員報酬 584千円	行政改革推進委員会委員報酬 584千円	行政改革推進委員会委員報酬 584千円
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
	(延べ) 80人	(延べ) 80人	(延べ) 80人	(延べ) 80人	(延べ) 80人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・行政改革指針に基づき具体的な重要課題事業の第1弾、第2弾を決定し、取組を始めた。 ・外部評価では、平成30年度に引き続いて、愛称の設定、公募の評価委員の選任等により、親しみやすいものとした。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ・行政評価票の改良を行い、作成しやすく、また見やすいものとし、より評価票の活用を図った。 ・評価票(A票)に「(事業)対象あたりのコスト」の欄を設け、費用対効果(コスト)の見える化を図るとともに、職員費用対効果(コスト)に対する意識の醸成を図った。 ・外部評価などで意見が多かった指標設定の課題について、令和元年度に2課でグループワークを実施し、指標設置の改善の取組を始めた。令和2年度は、イメージ動画を作成したのち、全課でグループワーク・研修を実施することにより、指標設定の改善やそれに係る意図との関連性の明確化などを中心に改善の取組を行っている。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ・具体的な取組(第1弾、第2弾の決定)により、行政改革指針の運用を見える化することができた。 ・行政評価票の改良により作りやすく、また見やすくなったため、作成する際のフォローがより必要となる。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ・重要課題事業の具体的な取組により中期財政計画で示された総支出の抑制及び財源の確保を図ることが重要であり、そのために職員が常に費用対効果(コスト)を意識して事業の実施や行政評価票の作成に取り組めるとよい。 ・各事業の評価票(A票)の「(事業)対象あたりのコスト」を分析し、予算への反映や事務改善につなげたい。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・具体的な取組(第1弾、第2弾)の進捗管理を行い、各担当課が取組を実施する際にフォローを行っていきたい。 ・行政評価(外部評価を含む。)は継続した取組となるように、様々な活用を図る。
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・トータルシステムが構築されるように、長久手市みんなで作るまち条例、中期財政計画、行政改革指針、行政評価等と連携を引き続き図ってください。
	内部意見への回答	